

Mie Soto Young Priests' Association 青年会だより

発行所：三重県曹洞宗青年会
発行責任者：朝日雄道 ☎(0595)54-1755
三曹青公式サイト <http://sansousei.com/>

三重県曹洞宗青年会 検索



ご挨拶



三重県曹洞宗青年会
第三十代会長

朝日雄道

謹賀新春、管内各御寺院様におかれましては益々ご清祥のことと拝察し、お慶び申し上げます。平素より三重県曹洞宗青年会の活動に格別のご厚情とご援助を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。始めに此度の令和六年能登半島地震により犠牲となられました方々に哀悼の意を表しますと共に、避難生活を余儀なくされております被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。青年会といたしましては、支援金の勧募と同時に過去のボランティア活動経験を活か

し、柔軟に復興支援に尽力していきたいと思えます。管内各御寺院様には状況に応じてご支援ご協力をお願いする事もございますが、何卒ご理解賜れば幸いです。さて、大会事務局発足より準備を進めてまいりました第四十七回東海管区曹洞宗青年会大会・三重県曹洞宗青年会六十周年記念大会を昨年十一月二十六日に開催させていただきました。多くの方々のご来場くださり、紡がれてきた歴史と伝統、また新たな歩みを進める青年僧の姿をご覧いただくことができました。

今大会のテーマであります「今、自分にできること」を会員一人ひとりが取り組み、無事円成に至れたことは幸甚の極みでございます。その軌跡には、先輩諸老師方の御法愛と、御関係各位の尊いご助力がございましたことに感謝し御礼申し上げます。

さて、国内外の情勢が目まぐるしく激動する現代であります。昨年のご挨拶でも申し上げたとおり、当会も様々な活動の方法を変え対応してまいりました。そして新型コロナウイルス感染症鎮静化の流れを受け、やむなく開催を見合わせておりました各事業を僅かながらでありますが、再開することができました。月例事業の一つであります「見聞楽」を四年ぶりに開催し、

志摩市栖雲寺様を会場に釈尊降誕会を修行させていただきました。また令和四年より再開いたしました緑蔭禅の集いにおいては、前年より引き続き松阪市海禅寺様を会場にお借りし、「禅・カフェ・ヨガの三重僧」と題して大勢の方にご参加いただきました。さらに和太鼓集団鼓司にも多くの出演依頼を頂戴し、県内外各地にて和太鼓演奏を披露させていただきました。も檀信徒様はじめ多くの方々に喜んでいただき、今後の活動への励みとなりました。

三重県曹洞宗青年会は、こうした各事業を和合の精神と情熱を護持し、初心を忘れず取り組んで参りたいと思えます。管内各御寺院様並びに各寺護持会様、檀信徒の方々におかれましては、変わらぬご理解ご協力をお願いいたしますとともに、皆様の益々の仏法興隆と福寿長久を祈念申し上げます。今年度のご挨拶とさせていただきます。

合掌

副会長よりのご案内

緑蔭禅担当 濱口 知希

昨年「第五十六回緑蔭禅の集い」にご参加、ご協力をいただき誠にありがとうございました。また、前期より開催してまいりました「オンライン坐禅会」は新型コロナウイルス五類移行等の環境変化もあり、昨年十月の第三十回をもって終了させていただきました。ご協力いただきありがとうございました。本年度も「第五十七回緑蔭禅の集い」を開催させていただきます。ご参加、ご協力よろしくお申し込み申し上げます。事務局一同、参加者様に満足いただける坐禅会を鋭意検討しておりますのでよろしくお願致します。

伝道車担当 和田 正道

今年度も伝道車担当をさせていただきます。今年も青年会行事をはじめ、宗務所行事、鼓司の活動、ボランティア等に伝道車を活用させていただきます。また当会では、伝道車や坐蒲など青年会が所有する器物の貸し出しを行っております。コロナが五類に変更され、様々な行事が行われるようになったかと思えます。必要な器物がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

月例担当 内田 裕大

コロナ禍も落ち着き、昨年度から青年会の活動も少しずつではありますが通常に近い形で行えるように戻ってまいりました。昨年四月には志摩市の栖雲寺様を会場に約四年ぶりの「見聞楽」を第二十五教区護持会様と共同で盛大に開催する事ができ

ても嬉しく印象に残っております。青年会では三仏忌、法要の研修はもちろんですが様々な行事、そして青年僧侶が仲良く楽しく集まれる場を作りたいと思っております。また、青年会に声をかけていただければお寺の行事のお手伝いや見聞楽の開催等させていただきますので気軽に声をかけていただきたいと思います。本年度もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。

全曹青東海曹青担当 花井 正道

昨年十一月二十九日に、全国曹洞宗青年会創立五十周年記念年事業・大本山總持寺報恩拜登が行われました。本年秋には大本山永平寺への拜登や様々な記念事業がおこなわれます。会員各位におかれましてはご多端の折誠に恐縮に存じますが、何卒ご助力賜りますようお願い申し上げます。

鼓司担当 花井 正道

昨年十一月二十六日には六十周年記念大会にて演奏をさせて頂きました。青年会員とメンバーで心を一つにし、大盛況のうちに終えられました。裏方や受付・誘導係全ての会員皆様に感謝申し上げます。本年も県内外より演奏の依頼をいただいております。鼓司に少しでも興味のある方は気軽にメンバーにお声がけください。新しい仲間を心からお待ちしています。

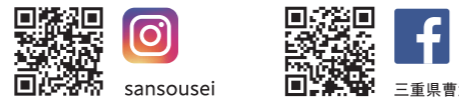
広報担当 横山 昌弘

各種SNSがこのコロナで急速に発達して参りました。そして、それを活用して各社の認知などが本当に進んで参りました。コロナの制限が少しずつ緩和されて様々

な青年会活動も再開しました。これからも多くの方に広報を通じて青年会活動を知ってもらい、より皆様との距離が近くなれるような広報に努めて参りたいと思っております。



<https://sansousei.com/>



sansousei 三重県曹洞宗青年会

事務局便り

青年会執行部も二年目になりました。昨年は、第四十七回東海管区曹洞宗青年会大会・三重県曹洞宗青年会六十周年記念大会を併催し、沢山の方にご来場いただきました。

開催にあたり三重県第一宗務所様、護持会様、県内各寺院様、協賛企業様には、ご支援ご協力賜り厚くお礼申し上げます。今年度は、大会を終えての一年になりましたが、引き続き充実した活動を行っていきたいと思えます。

昨年は四年ぶりに見聞楽を志摩市栖雲寺様に於いて開催させて頂き、二〇名の方々と花祭り降誕会を祝い、様々な屋台が並ぶ境内の雰囲気を楽しんでいただきました。今年度も見聞楽を開催できればと思っております。また、例年は夏に開催してまいりました緑蔭禅の集いを秋に行い、気温の高い中での坐禅会ではなく穏やかな季節での坐禅会へと変わりました。今年も秋ごろの開催にむけて準備をしております。

昨年より全国曹洞宗青年会が創立五十周年事業を行っております。当会も全曹青係を中心に各種研修会や大本山報恩拜登へ参加し県外曹青と共に研鑽をより深めていきたいと思えます。会員一同全力をもって精進努力してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

事務局一同 合掌

会費納入のお願い

平素は青年会活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

青年会の各活動は、みなさまの会費によって成り立っております。会費の納入がお済みでない方は、お近くの青年会会員または、会計大島慶之までお問い合わせください。

正会員 一〇,〇〇〇円
賛助会員 五,〇〇〇円

何卒ご理解いただきますよう
よろしくお願ひいたします。



7月「御朱印練習会」



1月「写経」



9月「緑蔭禅の集い事前研修」



2月「涅槃会・東日本大震災復興祈願並びに十三回忌」



10月「緑蔭禅の集い」於海禅寺



4月「見聞楽」於栖雲寺



12月「成道会」

第四十七回東海管区曹洞宗青年会大会 三重県曹洞宗青年会六十周年記念大会

令和五年十一月二十六日、三重県津市にある総合文化センター1ホールにおきまして「第四十七回東海管区曹洞宗青年会大会並びに三重県曹洞宗青年会六十周年記念大会」を開催し、九〇人を超える方々にご来場いただきました。

大会のテーマに「今、自分のできることを掲げ、コロナ禍において自己を見つめ直す機会を経て大会を迎えました。第一部では「和太鼓集団鼓司(くす)」が太鼓奏者の服部博之さんと記念演奏を行いました。

今回は周年大会ということで一曲目に新曲の披露があり、また青年会員も舞台に上がるこの日だけの特別な演出で一時間に



も及ぶ演奏を大歓声の中終えました。

第二部では三重県の写真家浅田政志さんに講演を行っていただきました。家族で過ごすこと、写真をプリントして形に残すこと、の大切さなどを東日本大震災での写真洗浄ボランティアの経験を交えてお話しいただきました。また終盤には遺影について青年僧と対談があり、地元ならではの話題も織り交ぜていただき、楽しい時間とともに和やかな講演になったかと思えます。

近年なかなか一堂に会することが難しかった情勢ではありましたが、会場に足を運んでいただくことによりオンラインでは感じることのできない臨場感を楽しんでいただけたかと思えます。

またわたしたちも皆様の喜んだ顔や感動した顔、温かい拍手などたくさんの方の反応を感じることができ、同じ空間でかけがいのないひと時を共にするのはとても素晴らしい体験だと感じました。この仏縁を大切に、これからも皆様とあゆみを進めて

ていきたいと思えます。管内御寺院諸先輩方、檀信徒の方々、関係各位の皆様のおかけをもちまして無事円成いたしました。これからも当会に御指導御鞭撻を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、管内御寺院様の身体健全、福寿無量を心より祈念申し上げます。ありがとうございました。



第47回 東海管区曹洞宗青年会大会 三重県曹洞宗青年会60周年記念大会

